

令和4年度 平塚市文化芸術振興計画 掲載事業 進捗状況管理表

NO	基本 目標	施策の 方向	取組 番号	事業名称	①事業の概要	②令和3年度の実績(参考)	③令和4年度の計画	④令和4年度の実績	⑤課題や成果	⑥ 所 管		⑦実施方法
										部・室	課	
1	1	魅力	①	文化芸術ホールのコ ンサートなどの自主 公演	市民の文化芸術鑑賞機会を提供す るため、ひらしん平塚文化芸術ホ ル指定管理者が、音楽、演劇など 様々なジャンルの自主企画公演を 実施します。	令和4年度から実施のため実績な し	音楽公演 7回開催 演劇・ミュージカル公演 4回開催 ダンス公演 3回開催 落語・エンタメ公演 2回開催 エントランス等コンサート 25回開 催	音楽公演 7回開催 観客4950人 演劇・ミュージカル公演 4回開催 観客 1,908人 ダンス公演 3回開催 観客 4,197人 落語・エンタメ公演 2回開催 観客 738人 エントランス等コンサート 25回開催 観客 1,710人	計画どおりに自主公演を合計41回 開催し、13,503人の参加があった。 市内外の多くの方に多様なジャン ルの文化芸術鑑賞体験を提供でき た。	市民部	文化・交流課	市と市民等が協働連携して実施
2	1	魅力	①	魅力ある美術展覧 会事業	多様な年齢層が国内外の優れた近 現代美術作品に接する機会を充実 させるため、テーマを設定した企画 展と所蔵品を活用した特集展を開 催します。	企画展を4回、特集展を3回開催 観覧者数合計67,883名	企画展を3回、特集展を4回開催予 定 目標観覧者104,330名	企画展3回、特集展4回をを開催 観覧者数合計54,628人	新型コロナウイルス感染症対策を 講じつつ、3回の企画展を含め7回 の展覧会を開催し、優れた美術作 品を鑑賞する機会の提供に努めま した。	社会教育部	美術館	市が単独で実施
3	1	魅力	①	博物館特別展事業	学芸員が収集・調査・研究した成果 を市民の知的共有財産とするた め、特別展を開催し、その成果を分 かりやすく具体的に展示します。	夏期特別展「平塚空襲」展、秋期特別 展「神奈川の大地」展、春期特別 展「掘り起こされた平塚IV」展の3回 の特別展を開催 会期中の入館者数、28,210人	夏期特別展「野鳥愛」展、秋期特別 展「星になった民具たち」展、春期 特別展「ゼロからの湘南地学入門」 展の3回の特別展開催を予定	夏期特別展「野鳥愛」展、秋期特別展「星」 になった民具たち」展、春期特別展「ゼロから の湘南地学入門」展の3回の特別展を開催 会期中の入館者数、28,207人	コロナ禍ではあったが3回の特別展 を無事開催した。	社会教育部	博物館	市が単独で実施
4	1	魅力	①	実行委員会形式の ジャズ、演劇、吹奏 楽フェスティバル、市 民合唱祭	平塚市まちづくり財団が、市民参加 型の文化芸術事業として、ジャズ、 演劇、吹奏楽、合唱祭のイベントを 実行委員会を組織して実施します。	5月 ジャズフェスティバル 1日開 催 3団体参加 観客 延べ320名 9月 演劇フェスティバル 2日開催 3団体参加 ※新型コロナ感染症拡大防止のた め無観客で収録し、動画配信 3月市民合唱祭 1日開催 22団 体参加 ※新型コロナ感染症拡大防止のた め無観客で実施	5月 ジャズフェスティバル 1日 開催 9月 演劇フェスティバル 2日開 催 10月 吹奏楽フェスティバル 1日 開催 3月 市民合唱祭 1日開催	5月15日(日) ジャズフェスティバル 4団 体参加 観客 857名 9月24日(土)、25日(日) 演劇フェスティ バル 7団体参加 観客 604名 10月30日(日) 吹奏楽フェスティバル 11団体参加 観客 のべ1,411名 3月12日(日)市民合唱祭 26団体参加 観客585人	4事業を市民参加による実行委員 会形式で予定通り実施され、合計4 8団体、観客3,457人が参加した。 多くの市民に文化芸術の発表や鑑 賞する機会が提供された。	市民部	文化・交流課	市と市民等が協働連携して実施
5	1	魅力	①	湘南ひらつか囲碁ま つり	木谷道場より多くの有力棋士を輩 出した「囲碁のまちひらつか」のシ ンボルイベントとして、プロ棋士を多 数招いた国内最大級の囲碁多面 打ち大会等を実施し、地域における 囲碁文化の振興と発展を促進しま す。	新型コロナウイルス感染症拡大防 止のため中止	10月 紅谷パールロードを中心 に開催	10月9日(日)開催 参加1,200人(多面打ち大会538人)	台風や新型コロナウイルス感染症 拡大防止のために中止が続いてい た、囲碁まつりを4年ぶりに開催 し、市内外の囲碁ファンや市民等 に「囲碁のまちひらつか」をPRするこ とができた。 なお、感染症対策として従来の 1,000面打ち大会を700面打ち大会 として実施した。	市民部	文化・交流課	市と市民等が協働連携して実施
6	1	魅力	①	木谷實・星のプラザ を活用した囲碁文化 の発信	ひらしん平塚文化芸術ホールに設 置した木谷實・星のプラザで、木谷 實九段の人柄や偉大な囲碁の功 績、並びに木谷一門の活躍を中心 に、囲碁文化の発信を行う展示を 実施します。	令和4年3月26日(土)にひらしん 平塚文化芸術ホール内に木谷實・ 星のプラザを開設	常設展示に加え、企画展示スペ ースで企画展を年3回実施	常設展示に加え、企画展示スペースで企画 展示を3回実施 ・木谷實と地方回り指導基 ・木谷實と名人引退基 ・囲碁と錦絵―水口コレクション―	木谷實九段についての常設展示に 加え、年3回の企画展示を実施し、 木谷實九段の功績や、囲碁文化に ついて、幅広い内容で発信ができた。	市民部	文化・交流課	市が単独で実施
7	1	魅力	①	村井弦斎まつり	平塚に居住し、食文化の向上と小 説の大衆化に寄与した時代の先駆 者、村井弦斎の徳を偲び、その 業績を市内外に発信・定着させるこ とを、まちおこしの一環とすること を目的に、村井弦斎まつりを開催し ます。	新型コロナウイルス感染症の影響 で事業中止	9月18日(日)午前10時～午後2 時30分、村井弦斎公園を会場にお となどもとも楽しめる12の弦斎ゆ かりのイベント(催事)や5つのプ ースで食道楽レシピの再現料理・菓 子、新鮮野菜販売等を予定	台風14号の影響で開催中止。	開催前々日に急遽中止を決定し た。関係者への中止連絡に、1時 間30分を要した。土日はさらに時間 を要することが予想される。 開催可否の最終判断時期と確実 で迅速な緊急連絡体制が検討課 題。	社会教育部	社会教育課	市と市民等が協働連携して実施

NO	基本目標	施策の方向	取組番号	事業名称	①事業の概要	②令和3年度の実績(参考)	③令和4年度の計画	④令和4年度の実績	⑤課題や成果	⑥所管		⑦実施方法
										部・室	課	
8	1	魅力	②	里山の保全・活用	(環境保全課) 里山らしさがよく残された西部丘陵地域の自然を保全・再生するため、土屋頭無地区の山林の一部を里山保全モデル地区に指定しました。里山保全モデル地区では、市民ボランティアや地域の個人などと散策路の整備、倒木の截断・間伐、下草刈などによる里山の整備事業を実施します。 (まちづくり政策課) 本市西部地域の貴重な自然環境や地域資源を活かしたまちづくりを進めるため、まちづくり条例に基づいた「湘南ひらつか・ゆるぎ地区活性化に向けた協議会」が主催する活動を支援します。	(環境保全課) 作業を年5回実施(農道整備2回、地区内の植物調査、林内樹木(エノキ、クスギ、コナラ)の保護、落ち葉かき、オオムラサキ越冬幼虫調査)合計39人の市民ボランティア等の参加(市職員を除く人数) (まちづくり政策課) 協議会と複数回の意見交換を実施。 年3回ほど予定されていたワークショップは新型コロナウイルス蔓延防止のためすべて中止。	(環境保全課) 作業を年7回実施(農道整備2回、地区内エノキの幼木の保護、落ち葉かき、エノキ・コナラの保護と数を増やすための種の確保、林内整備、オオムラサキ越冬幼虫調査) (まちづくり政策課) 平塚市まちづくり条例に基づく地区まちづくり協議会である「湘南ひらつか・ゆるぎ地区活性化に向けた協議会」が主催するワークショップの支援:3回 協議会との意見交換:回数未定	(環境保全課) 作業を4回実施(農道整備2回、地区内エノキの幼木の保護、エノキ・コナラの保護と数を増やすための種の確保)合計42人の市民ボランティア等が参加。 (まちづくり政策課) 新型コロナウイルスの影響でワークショップは中止。 協議会と合計6回の意見交換を実施。	(環境保全課) 雨天による中止もあったが、里山の維持管理は対応できた。 ホームページ等を活用し、里山保全に関する情報発信や市民ボランティアの募集を行っているが、情報の発信回数が徐々に減少傾向にあるため、情報の発信に努めていきたい。 (まちづくり政策課) 協議会と意見交換を重ね、R5年度の協議会と平塚市の連携の仕方について、明確にした。	環境部 まちづくり政策部	環境保全課 まちづくり政策課	(環境保全課) 市と市民等が協働連携して実施 (まちづくり政策課) 市と市民等が協働連携して実施
9	1	魅力	②	海岸エリア魅力アップチャレンジ	湘南海岸公園をはじめ、龍城ヶ丘ブルの跡地やビーチパーク、平塚新港、なぎさプロムナードの五つのゾーンで、それぞれのコンセプトによる魅力アップを図り、安心・安全で楽しい思い出の、誰もが「訪りたい、暮らしたい」と思うようなまちづくりを進めます。	(広報課) 市民や団体等からのなぎさプロムナード歩道上でのイベント開催希望はなし (農水産課) 港駐車場及び多目的広場を活用したイベント(花火大会、ドライブインシアター)の開催や地元の小学生を対象にした乗船体験を実施。 (商業観光課) ・海岸エリアの情報を掲載した観光ガイドマップ配布などを通し来街者への平塚のイメージアップを図り、魅力ある店舗の出店を促進。 ・「ひらつか匠の店」を軸にした商店と観光スポットを巡るツアーの実施により、海岸エリアの魅力を発信。 ・公園使用の手続き面でも、SunSunマルシェの継続開催に協力。 (まちづくり政策課) 公共空間の質の向上やまちの魅力を高める景観形成を誘導するため、建築物や工作物等に対して、景観ガイドラインや公共施設景観ガイドラインに基づき指導・助言を実施。 (都市整備課) 庁内関係課と協議を5回実施。 (みどり公園・水辺課) 湘南海岸公園龍城ヶ丘ゾーン整備・管理運営事業にかかる関係機関との調整等を行っている中、交通処理に係る関係機関協議を進める過程で、より安全性・円滑性に配慮した計画とすることが望ましいとされ、より一層安心安全な公園とするために、事業者と協議を行い、施設配置を一部見直す検討を実施。	(広報課) 市民や団体等から開催希望があった場合に、ノウハウの提供や道路占用許可等の手続へ協力。 (農水産課) 漁業体験イベント等による賑わいを創出。 (商業観光課) ・海岸エリアの情報を掲載した観光ガイドマップ配布などを通し来街者への平塚のイメージアップを図り、魅力ある店舗の出店を促進。 ・「ひらつか匠の店」を軸にした商店と観光スポットを巡るツアーの実施により、海岸エリアの魅力を発信。 (まちづくり政策課) 公共空間の質の向上やまちの魅力を高める景観形成を誘導するため、建築物や工作物等に対して、景観ガイドラインや公共施設景観ガイドラインに基づき指導・助言を実施。 (都市整備課) 関係機関と協議を実施。 (みどり公園・水辺課) 湘南海岸公園龍城ヶ丘ゾーン整備・管理運営事業にかかる関係機関との調整等を行っている中、交通処理に係る関係機関協議を進める過程で、より安全性・円滑性に配慮した計画とすることが望ましいとされ、より一層安心安全な公園とするために、事業者と協議を行い、施設配置を一部見直す検討を実施。	(広報課) 市民や団体等からのなぎさプロムナード歩道上でのイベント開催希望はなし。 (農水産課) JA湘南と協力して平塚新港及び多目的広場で、魚まつりと農業まつり(地産地消フェア)を同時開催した。 (商業観光課) ・海岸エリアの情報を掲載した観光ガイドマップの配布や情報発信を実施。 ・「ひらつか匠の店」ツアーを1回実施。 ・SunSunマルシェの継続開催に向け、イベント会場及び臨時駐車場に係る公園使用について、手続き面でも協力。 (まちづくり政策課) 公共空間の質の向上やまちの魅力を高める景観形成を誘導するため、建築物や工作物等に対して、景観ガイドラインや公共施設景観ガイドラインに基づき指導・助言を実施した。 (都市整備課) 関係機関と協議を7回実施。 (みどり公園・水辺課) 事業者から提出された見直しプランについて、平塚市公募対象公園施設設置等予定者選定委員会において審議したところ、見直しプランで事業を継続していくことは妥当であるとの御意見を受けたことから、市として事業継続に向けたプランとして決定した。	(広報課) イベントは開催されなかったが、SNSや定住促進ウェブサイトで海岸エリアの魅力を発信した。 (農水産課) 約2000人が来場し地産水産物の販売などにより漁業理解の促進や賑わい創出に寄与した。 (商業観光課) ・湘南地区の穴場スポットやインスタ映えするような場所を紹介するページを作成し、周知を図った。 ・湘南観光ガイドブック「SHONAN SLOW TRIP」の一部差し替えを行い、湘南地区にあるNHK大河ドラマ「鎌倉殿の13人」に関連する史跡やスポット等を新たに紹介し、誘客を図った。 ・漁港周辺の「ひらつか匠の店」(長谷金本店、相模屋海苔店)及び丸八丸、アップルキャンディーで贈り物作り体験、海苔の味くらべ、しらす釜揚げ、食品サンプル作りを行う観光ツアーを実施し、海岸エリアの魅力を発信した(平塚市観光協会主催)。 ・月1のSunSunマルシェ開催に向け手続き面でも協力し、継続開催を支援した。 (まちづくり政策課) 公共空間の質の向上やまちの魅力を高める景観形成を誘導するため、建築物や工作物等に対して、景観ガイドラインや公共施設景観ガイドラインに基づき指導・助言を実施し、良好な景観形成を誘導することができた。 (都市整備課) 事業内容の整理等、課題の庁内共有を計る必要がある。 (みどり公園・水辺課) 直しプランで事業を継続していくことができたことは成果として捉えている。 引き続き市民対話に努めつつ、関係機関協議を進めていく。	市長室 企画政策部 産業振興部 まちづくり政策部 都市整備部	広報課 企画政策課 農水産課 商業観光課 まちづくり政策課 交通政策課 都市整備課 みどり公園・水辺課	(広報課) 市と市民等が協働連携して実施 (農水産課) 市と市民等が協働連携して実施 (商業観光課) 市と市民等が協働連携して実施 (まちづくり政策課) 市と市民等が協働連携して実施 (都市整備課) 市が単独で実施 (みどり公園・水辺課) 市が単独で実施

NO	基本目標	施策の方向	取組番号	事業名称	①事業の概要	②令和3年度の実績(参考)	③令和4年度の計画	④令和4年度の実績	⑤課題や成果	⑥所管		⑦実施方法
										部・室	課	
10	1	魅力	②	高麗山公園(湘南平)魅力アップ事業	高麗山公園(湘南平)について、樹木整理による眺望の確保や、再整備に向けた公園の方向性、整備手法等について整理・検討します。	樹木整理等に取り組み、眺望の確保に努めました。	利便性向上のため、園路補修等を実施。	園路補修のために工事を発注した。諸事情により、工事期間を延期した。	園路補修を着実に進める。	都市整備部	みどり公園・水辺課	市が単独で実施
11	1	魅力	②	金目エコミュージアム	金目地区の自然環境、歴史、文化遺産を守り、伝え、活かすため、地域団体「金目エコミュージアム」において、地域のまちづくりや自然、歴史の調査等の各種事業を展開します。	新型コロナウイルス感染症の影響から、わかば祭り・金目収穫祭が中止となりましたが、秋山博資料展や頌徳祭は実施。また、可奈比叢書第4巻を刊行。	4月 わかば祭り 1日開催 8月 灯ろう流し 1日開催 11月 金目収穫祭 1日開催 3月 秋山博頌徳祭・資料展 頌徳祭1日、資料展3日間開催 随時 出前授業	4月30日(土)わかば祭り 200人 灯ろう流し 中止 11月6日(土)金目収穫祭 500人 3月21日(火・祝)秋山博頌徳祭 40人 3月19日(日)～21日(火・祝)秋山博資料展 30人 2月12日(日)金目エコミュージアムの集い講演会・活動展示・一日博物館等200人 出前授業 5月18日(水)、6月3日(金)・16日(木)、1月26日(木)	会員の増強、女性や若い世代の参加、情報発信の強化、既存の事業をさらに魅力的に改善する必要がある。 令和4年度は例年の事業に加え、15周年を記念して金目エコミュージアムの集いを開催し、各種調査の成果を総括した。	社会教育部	社会教育課	市と市民等が協働連携して実施
12	1	魅力	②	景観形成推進事業	自分たちが住むまちや地域の環境に関心を持ってもらうため、テーマに沿った景色等を描いてもらう「わたしが好きなまちかどスケッチ展」(市内小学校の児童対象)を実施します。 また、景観法の基本理念の普及や良好な景観形成についての意識啓発を目的として、市内の特徴ある風景等を紹介する「景観パネル展」を実施します。	わたしが好きなまちかどスケッチ展 応募数:352点 募集作品展示: (美術館)令和3年10月28日(木)から10月31日(日)まで (市役所)令和3年11月8日(月)から11月12日(金)まで 景観パネル展 ※スケッチ展と同時に展示	わたしが好きなまちかどスケッチ展 応募数:424点 募集作品展示: (美術館)令和4年10月27日(木)から10月30日(日)まで (市役所)令和4年11月21日(月)から11月25日(金)まで 景観パネル展 ※スケッチ展と同時に展示	わたしが好きなまちかどスケッチ展 応募数:424点 募集作品展示: (美術館)令和4年10月27日(木)から10月30日(日)まで ※市役所での展示は、展示予定場所が新型コロナウイルススワクテン接種会場として使用されるため、中止。 景観パネル展 ※スケッチ展と同時に展示	子どもたちに自分たちが住むまちや地域の環境に関心を持ってもらえた。また、子どもたちの作品の展示や景観パネル展を実施することによって、子どもたちだけでなく幅広い層に対して平塚市の景観に対する意識の向上を促すことができた。	まちづくり政策部	まちづくり政策課	市が単独で実施
13	1	魅力	②	湘南ひらつか七夕まつり	観光振興のため、新たな日常に対応した、安心・安全な七夕まつりを開催します。	新型コロナウイルス感染症の影響により、開催方法を見直し、「湘南ひらつか七夕まつり2021」として中心商店街の七夕飾りや子ども飾りの掲出、Webでのイベント等を実施。	市制施行90周年記念第70回湘南ひらつか七夕まつりの開催	7月8日(金)～10日(日)の3日間開催 来場者数 80万人	コロナ禍で、七夕飾りの掲出を続けていくことを目的に開催した。 飲食の出店は自粛し、感染症対策を講じた形で実施した。七夕飾りの掲出数の減少が課題である。	産業振興部	商業観光課	市と市民等が協働連携して実施
14	1	魅力	②	市民団体との協働による着地型観光の推進	地域資源を活用した新たな体験プログラム等の実施及びこれを通じた平塚の魅力を情報発信します。	新規に開発したプログラム数 6個 実施したプログラム数 9個	着地型観光プログラムの開発とイベントの周知及び実施	新規に開発したプログラム数 12個 実施したプログラム数 16個	目標であったプログラム25個の開催には達しなかったが、コロナ終息後に新たに関わっていただけるホストを発見することができ、今後の新規プログラムの開催に期待が持てる。	産業振興部	商業観光課	市と市民等が協働連携して実施
15	1	魅力	②	平塚産品普及促進事業	メイドイン平塚を市内外に広く普及させるため、生産者と消費者とのふれあいの場の充実を図るほか、平塚産品をPRすることにより、ブランド化を進めています。	名産品各種物産展等への参加回数 25日(うちふれあいマーケット開催回数10回) 名産品・特産品ウェブページアクセス件数 20,449件	名産品では、湘南ひらつか名産品及び特産品の5年に1度の選定により見直しを実施 ふれあいマーケットは月1回の開催を予定	5年に一度の見直しを実施し、名産品22名、特産品9品を認定した。 名産品各種物産展等への参加回数 30日(うちふれあいマーケット開催回数12回) 名産品・特産品ウェブページアクセス件数 34,740件	新たに選定した名産品について、いかにしてブランド価値の向上を図りつつ、効果的に市内外に広く普及させることができるかの方法を事業者とふれあいマーケットでは、SNS等での情報発信や新たな出店者の募集に力を入れ、新規の求場者を増やすことで、生産者と消費者とのふれあいの場を創出する必要がある。	産業振興部	産業振興課	市と市民等が協働連携して実施
16	1	魅力	②	市民総合体育大会開催事業	正式種目を地区対抗として15種目18競技、公開種目を自由参加として6種目開催します。	コロナ禍のため、中止	熱中症予防のため、秋に開催を変更し、コロナ感染対策を施して実施。 10月30日(日)、11月6日(日)	10月30日(日)、11月6日(日)に正式種目が15種目18競技、公開種目が6種目を開催。 正式種目の参加者は、2,832名	計画通りに実施することができた。	社会教育部	スポーツ課	市と市民等が協働連携して実施
17	1	魅力	②	各種スポーツ大会開催事業	地区対抗と実業団対抗による、市内の公道をコースとする駅伝競走大会を開催します。	コロナ禍のため、中止	地区体育振興会と競技主管団体と調整し、新型コロナ対策を踏まえた大会を開催。 令和5年1月8日(日)	令和5年1月8日(日)に実施。 地区対抗の部 17 チーム 102 人 実業団対抗の部 8チーム 40 人 合計 25 チーム 142 人	計画通りに実施することができた。	社会教育部	スポーツ課	市と市民等が協働連携して実施
18	1	共生	①	来館できない人への図書館サービス事業	図書館に来館出来ない人のために、移動図書館車の巡回、出前図書館等を実施するとともに、障がいのある方に対し郵送等による資料の貸出を行います。また来館しなくてもインターネットから資料を貸出する電子図書館サービスを実施します。	出前図書館 計17団体へ4,691点貸出 郵送貸出(点字図書・録音図書・CD)計320点貸出 電子図書館ログイン回数 16,489回(令和3年7月サービス開始)	移動図書館の巡回(13か所)、出前図書館、団体貸出実施(要望により随時)、郵送サービスの実施、電子書籍の購入・貸出	出前図書館 計15団体へ4,438点貸出 郵送貸出(デザイン図書・録音図書・CD)計162点貸出 電子図書館ログイン回数 10,375回	団体貸出及び郵送貸出は特定の利用者の利用がほとんどであることに加え、利用者が減っていること、かつ、新規の利用者が増えているため、貸出が減っている。新規の利用者を増やすためのPRが今後の課題。また、電子図書館についてもログイン回数が減っているため、電子図書館のPRが課題。	社会教育部	中央図書館	市が単独で実施

NO	基本目標	施策の方向	取組番号	事業名称	①事業の概要	②令和3年度の実績(参考)	③令和4年度の計画	④令和4年度の実績	⑤課題や成果	⑥所管		⑦実施方法
										部・室	課	
19	1	共生	①	町内福祉村での文化的活動	町内福祉村の活動拠点や自治会館などで福祉村のサロン活動を展開します。	18の福祉村で6,701回のサロンを実施。参加 55,392人	各福祉村の活動が活発になるよう支援し、引き続き、多くの福祉村でサロン活動を展開するとともに、新たなサロンの創出を促進。	18の福祉村で7,847回のサロンを実施し、75,256人が参加した。	新型コロナウイルス感染症の影響により活動の停滞が見られたことから、活動の活性化を後押しする補助金を創設し、新たな取組を支援した。一方、ボランティアや参加者の高齢化や固定化が見られることから、福祉村活動を持続可能なものとするため、多世代の交流を促進する必要がある。	福祉部	福祉総務課	市と市民等が協働連携して実施
20	1	共生	①	老人クラブ(ゆめクラブ)での文化的活動	「生きがい教室」や「趣味の作品展」を老人クラブと共催して開催します。	音楽教室 6回,63人 編み物教室 5回,62人 フラワーアレンジメント教室 3回,47人 趣味の作品展 1回,439人	音楽教室 9回 編み物教室 3回 フラワーアレンジメント教室 3回 手芸教室 3回 趣味の作品展 1回 福祉大会 1回 ねんりんピックかながわ2022出演・展示	音楽教室 9回,129人 編み物教室 3回,約30人 手芸教室 3回,31人 フラワーアレンジメント教室 3回,約60人 福祉大会 1回,390人 ねんりんピックかながわ2022出演・展示 65人(出演・出展者) 趣味の作品展 503人	ねんりんピックかながわ2022への参加や趣味の作品展会場の見直し等により、学習成果の発表機会を充実させることができた。	福祉部	高齢福祉課	市と市民等が協働連携して実施
21	1	共生	①	保育園、幼稚園、病院等への訪問コンサート	平塚市まちづくり財団が、保育園・幼稚園等にアーティストを派遣し、コンサートを実施します。また、東海大学と連携し、平塚市民病院に音楽療法等を学ぶ学生を派遣します。	新型コロナウイルス感染症拡大の影響で事業中止	保育園・幼稚園等でのコンサート、平塚市民病院への東海大学生の派遣を実施予定	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため事業中止	令和4年度も新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となった。会場や鑑賞対象者の特性から、感染症流行時の実施が難しい。	市民部	文化・交流課	市と市民等が協働連携して実施
22	1	共生	①	ひらつか障がい者福祉ショップありがとうでの製作品等の販売	障がい者が働く福祉ショップありがとうでの製作品等の販売を通じて、障がい者への理解促進など思いやりの心の醸成に向けた取組を進めます。	コロナ禍においても、運営・販売を行い、障がい者への理解促進など思いやりの心の醸成に向けた取組を進めた。さらに、デジタルサイネージを取り入れ、福祉ショップありがとうの活動紹介を行い、取組を強化。	引き続き、運営・販売を行い、障がい者への理解促進など思いやりの心の醸成に向けた取組を推進。	運営・販売を行うほか、「心のバリアフリー」に関連する冊子やグッズを配布し、障がい者への理解促進など思いやりの心の醸成に向けた取組を推進。	計画どおり、障がい者が働く福祉ショップありがとうの運営・販売を行い、障がい者への理解促進など思いやりの心の醸成に向けた取組を推進することができた。	福祉部	障がい福祉課	市と市民等が協働連携して実施
23	1	共生	①	国際交流イベントの開催	市内在住・在勤・在学の外国籍市民とともに、各国の文化の紹介や音楽などを楽しみながら、お互いの文化を理解し交流を深め、市民の国際理解と多文化共生の推進を図るため、ひらつか国際交流フェスティバルを開催します。	コロナ禍のため中止	年1回開催	開催日時：令和4年11月20日(日)13時～16時 場所：平塚市青少年会館2階集会室 参加：66人	新型コロナウイルスの感染予防対策をしながら、3年ぶりに国際交流フェスティバルを開催することができた。	市民部	文化・交流課	市と市民等が協働連携して実施
24	1	共生	①	文化芸術ホールにおける誰もが参加しやすい配慮をした事業実施	誰もが参加しやすい文化芸術鑑賞機会を提供するため、ひらつく平塚文化芸術ホール指定管理者が、年齢や国籍、障がいの有無などを問わない多様な市民向けの公演を実施します。	令和4年度から実施のため実績なし	11月 ドン！舞！フェスティバルIN平塚 1日開催	11月3日(木) ドン！舞！フェスティバルIN平塚開催 観客 466人 障がい者を含む出演団体 2団体	世界で活躍する太鼓ドラマーのヒダノ修一氏やプロの振付師と、平塚のダンス団体と障がい者グループ、県内で活動する和太鼓団体がコラボレーションして太鼓とダンスのステージを実施。障がい者の芸術発表の場の提供や、障がいの有無に関わらず舞台芸術を楽しむ機会を提供できた。	市民部	文化・交流課	市と市民等が協働連携して実施
25	1	共生	①	実行委員会形式のジャズ、演劇、吹奏楽フェスティバル、市民合唱祭(再掲)	平塚市まちづくり財団が、市民参加型の文化芸術事業として、ジャズ、演劇、吹奏楽、合唱祭のイベントを実行委員会を組織して実施します。	5月 ジャズフェスティバル 1日開催 3団体参加 観客 延べ320名 9月 演劇フェスティバル 2日開催 3団体参加 ※新型コロナ感染症拡大防止のため無観客で収録し、動画配信 3月市民合唱祭 1日開催 22団体参加 ※新型コロナ感染症拡大防止のため無観客で実施	5月 ジャズフェスティバル 1日開催 9月 演劇フェスティバル 2日開催 10月 吹奏楽フェスティバル 1日開催 3月 市民合唱祭 1日開催	5月15日(日) ジャズフェスティバル 4団体参加 観客 857名 9月24日(土)、25日(日) 演劇フェスティバル 7団体参加 観客 604名 10月30日(日) 吹奏楽フェスティバル 11団体参加 観客 のべ1,411名 3月12日(日)市民合唱祭 26団体参加 観客585人	4事業を市民参加による実行委員会形式で予定通り実施され、合計48団体、観客3,457人が参加した。多くの市民に文化芸術の発表や鑑賞する機会が提供された。	市民部	文化・交流課	市と市民等が協働連携して実施
26	2	継承	①	社会科副読本編集発行事業	郷土の歴史・地理・産物等を学ぶため、小学校3・4年生の社会科で使用する副読本と白地図を発行します。	新3年生を対象に、約2,200部を作成し配布。	新3年生を対象に、約2,200部を作成し配布する予定。	小学校3・4年生用の社会科副読本「わたしたちの平塚」を2,200部作成し、新小学3年生に配布した。	計画どおりに作成し、市内の新小学3年生に配布できた。小学3・4年生の社会科の副読本として活用されている。	学校教育部	教育研究所	市が単独で実施
27	2	継承	①	地域を学ぶ普及・体験事業	体験学習や講座を開催します。	人文・自然各部門で計284回開催。延べ参加人数、3,901人	人文・自然各部門で体験学習や講座の開催を予定	人文・自然各部門で計353回開催。延べ参加人数、5,048人	コロナ禍で、募集人数を制限したため、参加倍率が高くなった。また自由に参加できる行事を取り止めていたため、新たなファン層の取り込みに支障があった。	社会教育部	博物館	市が単独で実施

NO	基本目標	施策の方向	取組番号	事業名称	①事業の概要	②令和3年度の実績(参考)	③令和4年度の計画	④令和4年度の実績	⑤課題や成果	⑥所管		⑦実施方法
										部・室	課	
28	2	継承	①	芸術文化子ども体験事業	子どもたちが、長い歴史と伝統の中から生まれ守り伝えられてきた貴重な財産である芸術文化を体験することで、歴史・伝統・芸術文化に対する関心や理解を深め、豊かな人間性を育む機会を提供します。	4教室開催 【依頼先】 小学校2、公民館1、教育カネット1 【内容】 華道2、琴2	8教室開催	【依頼先】 小学校7、公民館6、教育カネット3 【内容】 華道7、琴4、奇術1、相模人形芝居4参加者194名。	未実施地区や学校での実施箇所を増やすため、引き続き関係会議等で周知を図る必要がある。	社会教育部	社会教育課	市と市民等が協働連携して実施
29	2	継承	①	博物館特別展示事業(再掲)	学芸員が収集・調査・研究した成果を市民の知的共有財産とするため、特別展を開催し、その成果を分かりやすく具体的に展示します。	夏期特別展「平塚空襲」展、秋期特別展「神奈川の大地」展、春期特別展「掘り起こされた平塚IV」展の3回の特別展を開催 会期中の入館者数、28,210人	夏期特別展「野鳥愛」展、秋期特別展「星になった民具たち」展、春期特別展「ゼロからの湘南地学入門」展の3回の特別展開催を予定	夏期特別展「野鳥愛」展、秋期特別展「星になった民具たち」展、春期特別展「ゼロからの湘南地学入門」展の3回の特別展を開催 会期中の入館者数、28,207人	コロナ禍ではあったが3回の特別展を無事開催した。	社会教育部	博物館	市が単独で実施
30	2	継承	②	能狂言などの伝統芸能公演事業	平塚市まちづくり財団が、普及・振興事業として、実行委員会を組織して実施します。	隔年開催のため実績なし	2月 能狂言 1日開催	2月12日(日)第9回湘南ひらつか能・狂言実施 観客429人	多くの市民に能・狂言の鑑賞機会を提供するとともに、演者の発表機会を提供し、伝統芸能への関心を高めるなど保存継承につなげた。	市民部	文化・交流課	市と市民等が協働連携して実施
31	2	継承	②	ふるさと歴史再発見事業	先人達が守り伝えてきた文化遺産や歴史等を掘り起こし、見つめ直し、その調査・保存・普及活動に取り組む地域や団体等の活動を支援します。	新型コロナウイルス感染症の影響から、中原の鷹狩行列は中止。一方、市内各地に設置した文化財説明板の点検を行い、修繕を実施。	今年度も新型コロナウイルス感染症の影響から、中原の鷹狩行列は中止。市内各地に設置した文化財説明板の点検及び修繕を実施予定。	中原の鷹狩り行列は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。市内各所に設置している文化財説明板の点検を行い、「旭地名産祥の碑」の盤面劣化のため修繕を実施。	文化財説明板の点検と修繕を継続。	社会教育部	社会教育課	市と市民等が協働連携して実施
32	2	継承	②	博物館調査研究事業	地域の歴史や自然の調査研究を進め、成果を蓄積し刊行物発行等の教育活動を実施し、合わせて博物館資料の保全を図ります。	博物館調査研究報告『自然と文化』に8件の報文として掲載し刊行	博物館調査研究報告『自然と文化』に調査研究成果を報告予定	博物館調査研究報告『自然と文化』に9件の報文として掲載し刊行した。	市民協働の収集・調査・研究がすすめられ資料や情報を蓄積した。	社会教育部	博物館	市と市民等が協働連携して実施
33	2	継承	②	木谷實・星のプラザを活用した囲碁文化の発信(再掲)	ひらしん平塚文化芸術ホールに設置した木谷實・星のプラザで、木谷實九段の人柄や偉大な囲碁の功績、並びに木谷一門の活躍を中心に、囲碁文化の発信を行う展示を実施します。	令和4年3月26日(土)にひらしん平塚文化芸術ホール内に木谷實・星のプラザを開設。	常設展示に加え、企画展示スペースで企画展を年3回実施	常設展示に加え、企画展示スペースで企画展示を3回実施 ・木谷實と地方回り指導碁 ・木谷實と名人引退碁 ・囲碁と錦絵-水口コレクション-	木谷實九段についての常設展示に加え、年3回の企画展示を実施し、木谷實九段の功績や、囲碁文化について、幅広い内容で発信ができた。	市民部	文化・交流課	市が単独で実施
34	2	継承	③	無形文化財保護事業	郷土芸能の継承と後継者の育成を図るため、活動発表の場である民俗芸能まつりを開催するほか、その保存に必要な活動支援を行います。	新型コロナウイルス感染症対策を徹底し、第45回ひらつか民俗芸能まつりを開催しました。また、後継者育成のため、演技指導者を派遣。	第46回ひらつか民俗芸能まつりを開催。令和4年11月20日(日)、13時00分～16時35分、4団体出演。相模人形芝居前鳥座が県指定40周年を迎えるため民俗芸能まつり内で記念式典を実施。	第46回ひらつか民俗芸能まつりを令和4年11月20日(日)、13時00分～16時35分まで実施。関係者と観客合わせて190名参加。相模人形芝居前鳥座が県指定40周年を迎えるため民俗芸能まつり内で記念式典を実施。	演技指導者を派遣し、後継者育成に努めた。後継者不足が課題。	社会教育部	社会教育課	市と市民等が協働連携して実施
35	2	継承	③	能狂言などの伝統芸能公演事業(再掲)	平塚市まちづくり財団が、普及・振興事業として、実行委員会を組織して実施します。	隔年開催のため実績なし	2月 能狂言 1日開催	2月12日(日)第9回湘南ひらつか能・狂言実施 観客429人	多くの市民に能・狂言の鑑賞機会を提供するとともに、演者の発表機会を提供し、伝統芸能への関心を高めるなど保存継承につなげた。	市民部	文化・交流課	市と市民等が協働連携して実施
36	2	継承	③	芸術文化子ども体験事業(再掲)	子どもたちが、長い歴史と伝統の中から生まれ守り伝えられてきた貴重な財産である芸術文化を体験することで、歴史・伝統・芸術文化に対する関心や理解を深め、豊かな人間性を育む機会を提供します。	4教室開催 【依頼先】 小学校2、公民館1、教育カネット1 【内容】 華道2、琴2	8教室開催	【依頼先】 小学校7、公民館6、教育カネット3 【内容】 華道7、琴4、奇術1、相模人形芝居4参加者194名。	未実施地区や学校での実施箇所を増やすため、引き続き関係会議等で周知を図る必要がある。	社会教育部	社会教育課	市と市民等が協働連携して実施
37	2	交流	①	平塚市文化祭の開催	市民による日頃の文化活動の成果の発表と市民文化の高揚を目的として、舞台公演、芸術作品や文芸作品の公募と展示等を開催します。	感染症拡大防止のため規模を縮小して開催。公募展4件を開催。舞台公演は無観客で8件を開催(中止3件)。文芸大会・茶会等は2件を開催(中止4件)。参加者と来場者は合わせて1,019名。	令和4年10月3日(月)～11月20日(日)の期間に公募展4件、舞台公演11件、文芸大会・茶会等6件を開催。	令和4年10月3日(月)～11月20日(日)の期間に公募展3件、舞台公演9件(中止2件)、文芸大会・茶会等6件を開催。参加者と来場者は合わせて5,772名。平塚市文化連盟70周年展も実施した。	参加者数と来場者数を増やすため、周知方法について再度検討する必要がある。	社会教育部	社会教育課	市と市民等が協働連携して実施
38	2	交流	①	市民・企業・大学等交流事業	市民、企業、大学等の交流を促進するため、文化・生涯学習、スポーツ、福祉、環境、観光等の各分野における交流事業を推進します。	7月及び3月に交流委員会を书面開催した。各推進部会では新型コロナウイルス感染症により一部事業を中止したが、合計10事業を実施した。延べ参加者数：約1,000人	7月及び3月に交流委員会を開催。各推進部会では合計14事業を実施。	8月及び3月に交流委員会を书面開催した。各推進部会では新型コロナウイルス感染症により一部事業を縮小、中止したが、合計14事業を実施した。延べ参加者数：5,420人	新型コロナウイルス感染症の影響をうけたものの、14事業の実施を通じて各分野における相互の交流により一部事業を縮小、中止したが、合計14事業を実施した。今後も神奈川大学との交流は続くが、別の形で事業検討が課題となる。	企画政策部	企画政策課	市と市民等が協働連携して実施

NO	基本目標	施策の方向	取組番号	事業名称	①事業の概要	②令和3年度の実績(参考)	③令和4年度の計画	④令和4年度の実績	⑤課題や成果	⑥所管		⑦実施方法
										部・室	課	
39	2	交流	①	公民館の文化的事業	公民館で活動している団体や、地域団体の活動発表をとおして地域コミュニティ文化の醸成を図ります。	・公民館まつり 21館実施(5館で中止) ・公民館フェスティバル 来場者 延べ1,639人(2日間)	・公民館まつりの実施 ・公民館フェスティバルの実施	・公民館まつり 26館実施 ・公民館フェスティバル 来場者 延べ3,173人(2日間)	計画どおりに実施し、活動団体や地域団体の成果発表を通して、地域コミュニティの醸成を図ることができた	社会教育部	中央公民館	市と市民等が協働連携して実施
40	2	交流	①	市民総合体育大会開催事業(再掲)	正式種目を地区対抗として15種目18競技、公開種目を自由参加として6種目開催します。	コロナ禍のため、中止	熱中症予防のため、秋に開催を変更し、コロナ感染対策を施して実施。 10月30日(日)、11月6日(日)	10月30日(日)、11月6日(日)に正式種目が15種目18競技、公開種目が6種目を開催。 正式種目の参加者は、2,832名	計画通りに実施することができた。	社会教育部	スポーツ課	市と市民等が協働連携して実施
41	2	交流	①	各種スポーツ大会開催事業(再掲)	地区対抗と実業団対抗による、市内の公道をコースとする駅伝競走大会を開催します。	コロナ禍のため、中止	地区体育振興会と競技主管団体と調整し、新型コロナ対策を踏まえた大会を開催。 令和5年1月8日(日)	令和5年1月8日(日)に実施。 地区対抗の部 17 チーム 102 人 実業団対抗の部 8チーム 40 人 合計 25 チーム 142 人	計画通りに実施することができた。	社会教育部	スポーツ課	市と市民等が協働連携して実施
42	2	交流	②	友好都市との市民交流や観光物産展の開催	文化、スポーツ、教育、産業の各分野を通じて友好都市と相互の市民交流を進め、相互の理解と友好親善を推進します。	6月 伊豆市の魅力紹介展 来場者:約180人 7月 友好都市郷土芸能披露 ※新型コロナウイルス感染症の影響でオンライン配信 11月 ひらつか友好都市うまいもんフェア 来場者:約6,600人 11月 ひらつか友好都市紹介展 来場者:374人 2月 花巻の物産と観光展 ※新型コロナウイルス感染症の影響でお取り寄せで実施 その他 年4回情報誌(高花平伊[Hi!Happy])の発行	6月 伊豆市で梅狩り体験 7月 友好都市七夕飾り掲出 10月 高山市市民ツアー訪問(40周年記念) 11月 高山市市民ツアー受け入れ(40周年記念式典) 11月 ひらつか友好都市うまいもんフェア 1月 平塚市内駅伝 伊豆市チーム招致 1月 伊豆市駅伝大会 平塚市チーム派遣 2月 わんこそば全日本大会食士派遣 2月 花巻の観光と物産展 その他 年4回情報誌(高花平伊[Hi!Happy])の発行	6月 伊豆市で梅狩り体験 来場者:42人 7月 友好都市七夕飾り掲出 7月 友好都市少年少女交流キャンプ 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため事業中止 8月 友好都市子どもマリン交流 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため事業中止 10月 高山市市民ツアー訪問(40周年記念) 参加者:16人 10月 伊豆市の魅力紹介展 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため事業中止 11月 高山市市民ツアー受け入れ(40周年記念) 参加者:28人 11月 ひらつか友好都市うまいもんフェア 来場者:約6,700人 11月 ひらつか友好都市紹介展 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため事業中止 1月 平塚市内駅伝競走大会 伊豆市チーム招致 8人 1月 伊豆市駅伝大会 平塚市チーム派遣 5人 1月 友好都市学校給食交流事業 平塚市児童:小学生約11,950人、花巻市児童:小学生約4,210人、中学生約2,300人、伊豆市児童:小学生約970人、中学生約590人 2月 わんこそば全日本大会食士派遣 3人 2月 花巻の観光と物産展 来場者:6,184人 その他 年4回情報誌(高花平伊[Hi!Happy])の発行	小学生を対象にした事業は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため実施できなかったものの、代替事業として食と食を通じて交流する「友好都市学校給食交流事業」など新たな事業を実施することができた。	市民部	文化・交流課	市と市民等が協働連携して実施
43	2	交流	②	青少年国際交流事業	①青少年海外派遣事業 国際青年の年(昭和60年(1985年))の記念事業の一環として始まったもので、市内の中学生・高校生を海外に派遣し、青少年、教育、文化等、諸事情の調査視察、現地青少年との交歓交流などの各種活動を通して、国際的視野を広め、その成果を市内青少年活動の指導推進に役立てる目的で実施します。 ②ローレンス市青少年受入事業 平成2年(1990年)9月21日に締結された、アメリカ合衆国カンザス州ローレンス市との姉妹都市提携に基づき、両市青少年の交流を図り、青少年の国際的な視野を広めることを目的として、平塚市青少年国際交流事業実行委員会に委託し、各方面から多大なボランティア協力を得て実施します。	新型コロナウイルス感染症の世界的な流行により、出入国等が制限され、中止。	新型コロナウイルス感染症の世界的な流行により、出入国等が制限され、中止。	・海外派遣事業に参加した団員で組織する「ヒコーキ雲の会」により、Instagramでローレンス市とオンライン交流を実施。七夕まつりの時期等、定期的に街の様子を発信。 ・ローレンス市、平塚市姉妹都市提携30周年記念オンライン交流会に「ヒコーキ雲の会」の2名が参加した。	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、対面での交流は中止となったが、オンラインにより交流を継続することで、親睦を深めるとともに、情報交換することができた。	健康・こども部	青少年課	市と市民等が協働連携して実施

NO	基本目標	施策の方向	取組番号	事業名称	①事業の概要	②令和3年度の実績(参考)	③令和4年度の計画	④令和4年度の実績	⑤課題や成果	⑥所管		⑦実施方法
										部・室	課	
44	2	交流	②	国際交流活動推進事業	国際交流員を任用し、市民の国際感覚や国際意識を高めるとともに、ホストタウンとしてリトアニアの都市との交流活動を推進します。また、市民主体の国際交流事業を実施します。	リトアニア出身の国際交流員を任用し、庁内外への派遣事業を24回実施。	・ローレンス市姉妹都市提携30周年記念オンライン交流会 ・リトアニアの都市とのホストタウン交流事業 ・リトアニアの都市との今後の交流に向けた市民組織の設立	・ローレンス市姉妹都市提携30周年記念オンライン交流会を令和4年10月22日(土)に開催。 ・リトアニア出身の国際交流員を任用し、庁内外への派遣事業を18回実施。 ・カウナス市との交流事業をオンラインで6回実施。 ・カウナス市との交流を推進するための市民組織「平塚・カウナス交流推進委員会」を設立。 ・リトアニアやカウナス市の魅力を市民にPRするための『リトアニアウィーク2023』を実施。	・ローレンス市との姉妹都市提携30周年記念交流会を開催することで、コロナ禍においても市民主体の交流を継続し、今後の発展へつなげることができた。 ・国際交流員の活用及びリトアニアウィークの開催等を通じ、同国ならびにカウナス市の魅力をPRし、市民の国際感覚と国際意識を高めることができた。 ・カウナス市との姉妹都市提携に向け、より一層の市民の機運醸成が求められる。	市民部	文化・交流課	市と市民等が協働連携して実施
45	2	交流	②	園児絵画展での友好都市園児の絵画共同展示	平塚市民間・公立保育園園児等の絵画を展示するとともに、友好都市である高山市、花巻市、伊豆市の保育園園児等の絵画を展示し友好を図ります。	令和3年度は新型コロナウイルス感染症のまん延防止のため未実施	令和5年1月に3日間で実施	令和5年1月13日(金)から15日(日)まで美術館で実施。 平塚市内保育園・こども園34園、友好都市花巻市:2園・高山市:6園・伊豆市:1園の保育園が参加し、絵画852点を展示 見学者2002人	新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催時間を短縮して実施したが、参加園、見学者は多く、友好を図ることができた。見学者の意見は、好評で継続希望が多く来年度は計画通り開催したい。	健康・こども部	保育課	市と市民等が協働連携して実施
46	2	育成	①	美術教育の普及・体験事業(ギャラリートークの実施)	担当学芸員が展覧会のポイントや作品の解説・質疑応答等を行いながら、展覧会全体を理解してもらうギャラリートークを行います。	ギャラリートークを4回、アーティストトークを2回開催 参加者合計183名	多くの観覧者に展覧会全体を理解していただくために、展覧会のポイントや作品の解説を実施。	ギャラリートークを10回、アーティストトークを7回開催 参加者合計482名	全ての展覧会において、展覧会のポイントや作品の解説を実施し、展覧会を理解いただく機会の提供に努めた。	社会教育部	美術館	市が単独で実施
47	2	育成	①	市民参加型第九のつどい	平塚市まちづくり財団が、市民参加型の文化芸術事業として実行委員会を組織して実施します。	新型コロナウイルス感染症拡大の影響で事業中止	12月 第九のつどい 1日開催	新型コロナウイルス感染症拡大の影響等で事業中止	令和4年度も新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となった。 令和5年度は実施に向けて検討す	市民部	文化・交流課	市と市民等が協働連携して実施
48	2	育成	①	小学生への囲碁普及活動	囲碁のまち ひらつかを市内小学生に知る機会を持ってもらい、新しく囲碁文化に親しむ小学生を増やしていきます。	小学校への出前授業を検討していたが、新型コロナウイルス感染症の影響で中止。	新しく囲碁文化に親しむ小学生を増やす方策を検討。	新しく囲碁文化に親しむ小学生を増やす方策を検討。	限られた授業時数の中で、授業において取り扱うことが困難である。	教育総務部	教育総務課	市と市民等が協働連携して実施
49	2	育成	①	文化芸術に関する資料の収集・提供	文化芸術に関する資料を地域のニーズに合わせて収集・整理し提供します。	中央図書館展示開催数 計55回	資料の収集 利用者の関心を高める資料展示の実施	中央図書館展示開催数 計55回	利用者に図書館資料を紹介し、関心を高めることができた。	社会教育部	中央図書館	市と市民等が協働連携して実施
50	2	育成	①	園児絵画展での友好都市園児の絵画共同展示(再掲)	平塚市民間・公立保育園園児等の絵画を展示するとともに、友好都市である高山市、花巻市、伊豆市の保育園園児等の絵画を展示し友好を図ります。	令和3年度は新型コロナウイルス感染症のまん延防止のため未実施	令和5年1月に3日間で実施	令和5年1月13日(金)から15日(日)まで美術館で実施。 平塚市内保育園・こども園34園、友好都市花巻市:2園・高山市:6園・伊豆市:1園の保育園が参加し、絵画852点を展示 見学者2002人	新型コロナウイルス感染拡大防止のためのため開催時間を短縮して実施したが、参加園、見学者は多く、友好を図ることができた。見学者の意見は、好評で継続希望が多く来年度は計画通り開催したい。	健康・こども部	保育課	市と市民等が協働連携して実施
51	2	育成	②	小学校へプロ演奏家を派遣するアウトリーチ事業	小学校へプロの演奏家を派遣し、小学生にプロの演奏やお話などを体験してもらい、音楽に対する興味関心を高めます。	小学校8校で8日間実施 内容:ヴァイオリン、ピアノ、ピアノ連弾、プラスバンド	小学校6校で7日間実施 内容:ヴァイオリン、ピアノ、ピアノ連弾、プラスバンド	小学校6校で7日間実施 内容:ヴァイオリン2日間、ピアノ2日間、ピアノ連弾1日間、プラスバンド2日間	身近な小学校の音楽室で、プロ奏者の演奏や、楽器の仕組みなどの話を目の前で聞くことで、普段の授業やコンサートでは得られない、貴重な体験を小学生に提供し、音楽への関心を大きく高めることができた。	市民部	文化・交流課	市が単独で実施
52	2	育成	②	文化芸術ホールでの親子向け、中高生向けワークショップ	実演芸術を通じて創造力やコミュニケーション能力を育てるワークショップを親子向け、中高生向けに実施します。	令和4年度から実施のため実績なし	親子向けワークショップ 5月 1回開催 3月 1回開催 中高生向けワークショップ 9月 1回開催	5月5日(木) (親子向け)オモシロ楽器「チワワ笛」を作ろう! 鳴らそう! 参加 32人 9月23日(金) (中高生向け)ブレイクダンス・ワークショップ 参加 27人 3月18日(土) (親子向け)林家染太こどものための落語体験教室 参加 15人	計画どおりに親子向け2回、中高生向け1回のワークショップを開催し、合計74人の参加があった。音楽、ダンス、落語といった多様なジャンルの文化芸術体験を提供できた。 中高生向けダンスワークショップは、市内中学校の運動会と日程が重なってしまったため、次年度以降の開催日の選定時には反省を活かしたい。	市民部	文化・交流課	市と市民等が協働連携して実施
53	2	育成	②	生きる力を育む学校づくり推進事業	生徒の「生きる力」を育む学校づくりを推進するため、各中学校において芸術鑑賞教室の実施を支援します。	中学校15校(全校生徒対象) 演劇 4校 音楽 8校 古典芸能 3校 その他 2校 ※1校は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、学級ごとにDVDの鑑賞(演劇・音楽・古典芸能)	中学校15校 全校生徒対象 各校年1回開催	中学校15校(全校生徒対象) 演劇 3校 音楽 6校 古典芸能 5校 その他 1校	計画どおりに芸術鑑賞教室を合計15回開催し、市内中学生に多様なジャンルの文化芸術鑑賞体験を提供できた。	学校教育部	教育指導課	市が単独で実施

NO	基本目標	施策の方向	取組番号	事業名称	①事業の概要	②令和3年度の実績(参考)	③令和4年度の計画	④令和4年度の実績	⑤課題や成果	⑥所管		⑦実施方法
										部・室	課	
54	2	育成	②	子ども向け囲碁教室	子ども囲碁教室を実施し、囲碁文化の普及・振興を図ります。	通年子ども囲碁教室に加え、夏休み、春休み子ども囲碁教室を実施。	通年の教室に加え、小学校の夏季休暇及び春季休暇時に1回ずつ実施予定	通年で水曜・木曜子ども囲碁教室、土曜子ども囲碁教室、日曜子ども囲碁教室を実施。参加67人。 7月28日(木)～8月2日(火)夏休み子ども囲碁入門教室実施。参加12人。 3月25日(土)～3月30日(木)春休み子ども入門囲碁教室実施。参加18人。	夏休みと春休みの入門教室、通年での初級～上級の囲碁教室を子ども向けに開催し、97人の参加者があった。 棋力の向上に合わせて継続的に学ぶ機会を提供できた。	市民部	文化・交流課	市と市民等が協働連携して実施
55	2	育成	③	文化芸術ホールでの働く世代向けワークショップ	実演芸術を通じて創造力やコミュニケーション能力を育てるワークショップを働く世代向けに実施します。	令和4年度から実施のため実績なし	働く世代向けワークショップ 11月 1回開催	11月23日(水) 大人のための演劇ワークショップ 参加 23人	プロの俳優・演出家の講師から、演劇におけるセリフの抑揚のつけ方などを学び、日常のコミュニケーションで活かせる話し方を伝えることができた。 このような事業に初めて参加する方が多く、演劇についての関心を高めることもできた。	市民部	文化・交流課	市と市民等が協働連携して実施
56	2	育成	③	美術教育の普及・体験事業(ワークショップの開催)	美術に親しむ人々の拡大と美術に関する学習活動や体験を目的に、子ども・親子や成人を対象としたワークショップを実施します。	34講座開催 参加者合計385名	美術への関心と親しむ人を増やすため、体験型学習活動としてワークショップを実施。	38回開催 参加者合計578名	美術教育普及活動を推進するため、新型コロナウイルス感染症の拡大防止に留意しながらワークショップ等を開催し、気軽に美術活動に取り組む機会の提供に努めました。	社会教育部	美術館	市が単独で実施
57	2	育成	③	対話による美術鑑賞事業	作品を見る人が感じたことを言葉にし、他の人の意見も聞きながら考えを深め、作品の本質に迫ろうとする対話による美術鑑賞をボランティアの協力を得ながら市内小学校と連携して実施します。	6校19クラスで実施 参加者数合計613名	対話による美術鑑賞を促進するため、市内小学校へ実施を呼び掛け。	10校24クラスで実施 参加者合計753名	ボランティアの協力を得ながら市内小学校と連携して対話による美術鑑賞を実施し、作品の本質に迫る機会の提供に努めた。	社会教育部	美術館	市と市民等が協働連携して実施
58	2	育成	③	子ども読書活動推進事業	各中学校区子ども読書活動推進協議会を中心に、家庭・地域・学校・行政が連携し、多様な読書活動を推進します。	平塚市子ども読書活動推進プロジェクト 第1回「読書感想文の書き方講座 ビブリオバトルに挑戦しよう」8月11日(水)、12日(木)開催 参加19名 第2回「オリジナル絵本を作ってみよう！」3月12日(土)開催 参加7組19名	平塚市子ども読書活動推進プロジェクトの開催 各中学校区子ども読書活動推進協議会代表者会議開催等による活動支援 平塚市子ども読書活動ネットワーク運営委員会との連携	平塚市子ども読書活動推進プロジェクト 第1回「読書感想文の書き方講座・ビブリオバトルに挑戦しよう」8月2日(火)、9日(火)開催 参加 16名 第2回「オリジナル絵本を作ってみよう！」2月25日(土)開催 参加 9組21名 第3回「星空の中のおはなし会」3月25日(土)開催 参加 18組55名 各中学校区子ども読書活動推進協議会代表者会議 8月30日(火)開催 平塚市子ども読書活動ネットワーク ・機関紙「LINK」第25号発行 ・あんどんをぬろうin美術館 6月22日(水)開催 七夕市民飾りの部 2等受賞 ・本読みマラソン 11月25日(金)開催	プロジェクトを3回、代表者会議1回、読書ネットのイベントを2回開催し、子どもたちの読書活動を推進し、各中学校区子ども読書活動推進計画の活動支援を支援することができた。	社会教育部	中央図書館	市と市民等が協働連携して実施
59	2	育成	③	多様な学習推進事業	地域の特性を生かしながら、これまで培ってきたものに新たな手法を取り入れ、多様な学習機会を提供します。	【地区公民館】 ・家庭教育学級 68講座 1,721人 ・シニア学級 131講座 2,770人 ・児童・生徒地域参加事業 59講座 2,508人 ・自主事業 157講座 7,004人 ・ブロック事業 9講座 194人 ・セカンドライフ教室 5講座 127人 【中央公民館】 ・市民大学講座・市民アカデミー講座 6講座 420人 ・ひらつか地域市民大学 145人	【地区公民館】(各館) ・家庭教育学級 5講座 ・シニア学級 5講座 ・児童・生徒地域参加事業 3講座 ・自主事業 5講座(各地区)、1講座(ブロック) ・セカンドライフ教室 2講座(各ブロック) 【中央公民館】 ・市民大学講座・市民アカデミー講座 10講座 ・ひらつか地域市民大学	【地区公民館】 ・家庭教育学級 102講座 2,533人 (家庭教育講演会を含む) ・シニア学級 149講座 2,914人 ・児童・生徒地域参加事業 96講座 7,467人 ・自主事業 176講座 10,061人 ・ブロック事業 12講座 347人 ・セカンドライフ教室 5講座 134人 【中央公民館】 ・市民大学講座・市民アカデミー講座 10講座 849人 ・ひらつか地域市民大学 139人	地域の学習ニーズを把握し、地域人材・団体を活用した多様な学習機会を提供することができた。	社会教育部	中央公民館	市が単独で実施
60	2	育成	③	大人、女性向け囲碁教室	各種囲碁教室を実施し、囲碁文化の普及・振興を図ります。	「女性のための囲碁入門教室」を令和3年10月15日(金)から令和3年12月24日(金)まで毎週金曜日実施 「モーニング囲碁入門教室」については令和3年12月15日(水)から令和4年3月2日(水)まで毎週水曜日(令和3年12月29日は除)実施	女性のための囲碁入門教室を秋季に1回、モーニング囲碁入門教室を冬季に1回実施予定	6月29日(水)～8月31日(水)毎週水曜日(1回)、モーニング囲碁入門教室を実施。参加11人。 10月18日(火)～12月20日(火)毎週火曜日に女性のための囲碁入門教室を実施。参加11人。	大人向けの囲碁入門教室としてモーニング囲碁入門教室、女性のための囲碁入門教室を実施し、囲碁を楽しむ方の裾野を広げることができた。	市民部	文化・交流課	市と市民等が協働連携して実施

NO	基本目標	施策の方向	取組番号	事業名称	①事業の概要	②令和3年度の実績(参考)	③令和4年度の計画	④令和4年度の実績	⑤課題や成果	⑥所管		⑦実施方法
										部・室	課	
61	2	育成	④	ミニコンサートのプロアーティスト出演	市内の公共施設等を活用して、文化芸術公演を実施します。	新型コロナウイルス感染症拡大の影響で事業中止	2月 リトアニアウィーク講演会、ミニコンサート 1日開催	2月3日(金) リトアニアウィーク講演会・ミニコンサート開催 参加 302人 ミニコンサート出演:早稲田 椋子(ヴァイオリン)、早稲田真理(ピアノ)	東京オリンピック・パラリンピック2020のホストタウンとして交流を深めるリトアニア共和国の駐日大使の講演会と同時開催のミニコンサートで、リトアニア国家やリトアニアの作曲家チュリルリョニス作曲のノクターンなどを演奏し、リトアニア共和国の文化を体験する機会を提供した。	市民部	文化・交流課	市が単独で実施
62	2	育成	④	文化芸術ホール事業での市内アーティスト出演	市内アーティストの出演者を募集し、ひらしん平塚文化芸術ホールのオープンライブNEXTで演奏やパフォーマンスを実施します。	令和4年度から実施のため実績なし	19回開催	19回開催 24グループ出演 観客 1,100人	平塚市出身、在住、市内で活動するアーティスト24グループが出演し、アーティスト育成の場となった。申込不要の無料コンサートとして実施して、多くの市民の鑑賞機会を提供できた。	市民部	文化・交流課	市と市民等が協働連携して実施
63	2	育成	④	文化芸術団体の公演事業支援	市内で活動する文化芸術団体の公演を共催することで、活動の広がりを補助します。	なし	10月 湘南バレエコンペティション 3日開催	10月8日(土)~10月(日)第9回湘南バレエコンペティション2022 観客 のべ1,300人	市内で活動するNPO法人とひらしん平塚文化芸術ホールが共催することで、団体や参加するバレエダンサーの育成支援を実施できた。また、共催により事業広報が強化され多くの観客が鑑賞し、バレエの振興が進んだ。	市民部	文化・交流課	市と市民等が協働連携して実施
64	3	活用	①	アートギャラリー等施設利用促進事業	文化芸術活動の発表の場としての市民アートギャラリー等の貸出しを行います。	利用団体数合計112団体	多くの団体等に文化芸術活動の発表の場を提供。	利用団体数合計140団体	市民アートギャラリー等の施設利用者に新型コロナウイルス感染症対策の徹底を呼び掛け、140団体、32,007人の利用があった。	社会教育部	美術館	市が単独で実施
65	3	活用	①	八幡山の洋館での文化事業	市内の明治建築として重要な文化財である旧横浜ゴム平塚製造所記念館に対する理解を深めていただき、かつ活用することを目的に、各種文化事業を実施します。	4月 緑化まつり関連事業(中止) 5月 第20回音楽のおくりもの 2日間 参加者182人 10月 第21回音楽のおくりもの 2日間 参加者172人 12月 第11回クリスマスフェスタ 2日間 参加者243人 3月 文化・歴史講座 1日間 受講者15人 この他、指定管理者が開催する毎月の遊館日や有料コンサートを新型コロナウイルス感染症対策により入場者を制限して実施。	4月 緑化まつり関連事業(中止) 5月 第22回音楽のおくりもの 2日間 10月 第23回音楽のおくりもの 2日間 12月 第12回クリスマスフェスタ 2日間 3月 文化・歴史講座 2日間 この他、指定管理者が開催する毎月の遊館日や有料コンサートを開催	4月 緑化まつり関連事業(中止) 5月28日(土)・29日(日)第22回音楽のおくりもの 参加者257人 10月15日(土)・16日(日)第23回音楽のおくりもの 参加者247人 12月3日(土)・4日(日)第12回クリスマスフェスタ 参加者270人 3月4日(土)歴史講座 参加者29人 3月11日(土)文化講座 参加者20人 この他、指定管理者が開催する毎月の遊館日(12回)や春・秋のバラフェスタ、ジャズコンサートを開催	会場の収容人数が最大60人と狭いため、参加者の数に限りがある。情報発信にさらなる工夫が必要である。コロナ禍による会場の人数制限が解け、参加者が従来に戻りつつある。各事業のアンケートでは「次回も参加したい」など肯定的な意見が多く、歴史的建造物を有効に活用できた。	社会教育部	社会教育課	市と市民等が協働連携して実施
66	3	活用	①	埋蔵文化財展示・活用事業	埋蔵文化財の保存作業の最前線となる埋蔵文化財調査事務所において、市民に向けた常設展示やイベントを行う等、積極的な利用促進を図ります。	新型コロナウイルス感染症対策のため、募集人数を制限して「勾玉づくり教室」を実施。	7月 夏の勾玉教室 2日間 3月 春の勾玉教室 2日間 常時 埋蔵文化財調査事務所内展示	7月25日・26日 勾玉教室 参加者33名 3月27日・28日 勾玉教室 参加者43名 常時 埋蔵文化財調査事務所内展示 見学者136名	勾玉の模型製作を通じて、市民に市内出土品を身近に感じてもらうことができた。 課題としては、十分なスペースがないため落選者がでてしまう他、小学3年生以下の子に対するイベントの在り方を検討する必要性が挙げられる。	社会教育部	社会教育課	市が単独で実施
67	3	活用	①	文化財調査成果周知・活用事業	国民共有の財産である文化財を広く市民に周知し、愛護意識を高めるために、市内で発掘された埋蔵文化財の調査成果の公開や出土遺物の展示等を行います。	平塚市遺跡調査・研究発表会を紙上発表で実施するとともに、新四之宮公民館建設予定地で遺跡発掘調査現場の見学会を開催し、調査成果を情報発信。	平塚市内の文化財を市民に周知するため、遺跡調査・研究発表会を実施する。コロナの感染状況を考慮し紙上発表での実施を検討予定。	平塚市遺跡調査・研究発表会を紙上発表の形式で3月に実施し、350部の冊子を配布。調査成果の情報発信を図った。	作成した冊子を関係機関へ郵送し窓口等でも配布。電話での問い合わせもあり、関心が寄せられていることから、今後は、ホームページ等での活用も検討。	社会教育部	社会教育課	市が単独で実施
68	3	活用	①	実行委員会形式のジャズ、演劇、吹奏楽フェスティバル、市民合唱祭(再掲)	平塚市まちづくり財団が、市民参加型の文化芸術事業として、ジャズ、演劇、吹奏楽、合唱祭のイベントを実行委員会を組織して実施します。	5月 ジャズフェスティバル 1日開催 3団体参加 観客 延べ320名 9月 演劇フェスティバル 2日開催 3団体参加 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため無観客で収録し、動画配信 3月市民合唱祭 1日開催 22団体参加 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため無観客で実施	5月 ジャズフェスティバル 1日開催 9月 演劇フェスティバル 2日開催 10月 吹奏楽フェスティバル 1日開催 3月 市民合唱祭 1日開催	5月15日(日) ジャズフェスティバル 4団体参加 観客 857名 9月24日(土)、25日(日) 演劇フェスティバル 7団体参加 観客 604名 10月30日(日) 吹奏楽フェスティバル 11団体参加 観客 のべ1,411名 3月12日(日)市民合唱祭 26団体参加 観客585人	4事業を市民参加による実行委員会形式で予定通り実施され、合計48団体、観客3,457人が参加した。多くの市民に文化芸術の発表や鑑賞する機会が提供された。	市民部	文化・交流課	市と市民等が協働連携して実施

NO	基本目標	施策の方向	取組番号	事業名称	①事業の概要	②令和3年度の実績(参考)	③令和4年度の計画	④令和4年度の実績	⑤課題や成果	⑥所管		⑦実施方法
										部・室	課	
69	3	活用	①	町内福祉村での文化的活動(再掲)	町内福祉村の活動拠点や自治会館などで福祉村のサロン活動を展開します。	18の福祉村で6,701回のサロンを実施。参加 55,392人	各福祉村の活動が活発になるよう支援し、引き続き、多くの福祉村でサロン活動を展開するとともに、新たなサロンの創出を推進。	18の福祉村で7,847回のサロンを実施し、75,256人が参加した。	新型コロナウイルス感染症の影響により活動の停滞が見られたことから、活動の活性化を後押しする補助金を創設し、新たな取組を支援した。 一方、ボランティアや参加者の高齢化や固定化が見られることから、福祉村活動を持続可能なものとするため、多世代の交流を促進する必要がある。	福祉部	福祉総務課	市と市民等が協働連携して実施
70	3	活用	①	公民館の文化的事業(再掲)	公民館で活動している団体や、地域団体の活動発表をとおして地域コミュニティ文化の醸成を図ります。	・公民館まつり 21館実施(5館で中止) ・公民館フェスティバル 来場者 延べ1,639人(2日間)	・公民館まつりの実施 ・公民館フェスティバルの実施	・公民館まつり 26館実施 ・公民館フェスティバル 来場者 延べ3,173人(2日間)	計画どおりに実施し、活動団体や地域団体の成果発表を通して、地域コミュニティの醸成を図ることができた	社会教育部	中央公民館	市と市民等が協働連携して実施
71	3	活用	②	文化情報誌たわわ発行	平塚市内の文化や芸術に関する情報を掲載する情報誌「たわわ」を発行します。	年3回(6月、10月、2月)発行	年3回(6月、10月、2月)発行	3回(6月、10月、2月)、各4,800部を発行。	平塚市に縁のあるアーティストや文化団体、平塚の歴史、ひらしん平塚文化芸ホール、友好都市などの情報を広く市民に提供できた。	市民部	文化・交流課	市が単独で実施
72	3	活用	②	文化芸術ホールの情報発信	ひらしん平塚文化芸術ホールの指定管理者がウェブサイトやSNS、情報紙などで、ホールで開催されるイベントなどの情報を発信します。	(令和4年3月の実績) ホームページ閲覧数 76,266件 情報誌ミツカル 1回発行	ホームページ、SNS随時更新 情報誌ミツカルを月1回発行	ホームページ閲覧数 698,361件 情報誌ミツカル 12回発行 SNS(フェイスブック、ツイッター、ユーチューブ)随時更新	ウェブ媒体、紙媒体を併用して、ひらしん平塚文化芸術ホールの利用や各種イベントの参加につながる情報発信ができた。 SNSの発信については、登録ユーザーの獲得が課題となっている。	市民部	文化・交流課	市と市民等が協働連携して実施
73	3	活用	②	文化芸術ポータルサイト開設・充実	市内の様々な文化芸術に関する情報をウェブ上で閲覧できるポータルサイトを開設します。	令和4年度から実施のため実績なし	他市町村などの先進事例から掲載する情報などを研究。	他自治体7自体の文化芸術ポータルサイトについて、掲載情報などを研究した。	他自治体の研究は進んだが、市内の文化芸術情報の掲載状況、ポータルサイト構築・運用方法の検討などを進める必要がある。	市民部	文化・交流課	市が単独で実施
74	3	活用	③	文化芸術ホール運営者による文化芸術ホール活用、賑わい創出	ひらしん平塚文化芸術ホール及び周辺の賑わいを創出するために、指定管理者がホール、見附台公園を活用したイベントや展示などを実施します。	文化芸術や平塚市の魅力を紹介するコーナーを整備	文化芸術や平塚市の魅力を紹介するコーナーの運営 キッズルームでの子育てイベント 6回開催 見附台公園を活用したイベント 2回開催 市民団体やお祭りとの連携 4回開催 エントランスギャラリーを活用した展示 11回開催	文化芸術や平塚市の魅力を紹介するコーナーの運営 キッズルームでの子育てイベント 6回開催 参加 74人 見附台公園を活用したイベント 3回開催 参加 1,640人 市民団体やお祭りとの連携 4回開催 参加 3,300人 エントランスギャラリーを活用した展示 11回開催 参加 5,830人	文化芸術ホールや見附台公園を活用した事業の実施により、ホールやホール周辺の賑わいが創出された。 エントランスギャラリーや、廊下などに設置された自由に利用できる机・椅子の整備により、イベントが無い日でも多くの利用者で賑わいが創出された。	市民部	文化・交流課	市と市民等が協働連携して実施
75	3	活用	③	まちづくり財団による文化芸術ホール活用	まちづくり財団が主催・主管する事業を、文化芸術ホールで開催し、多種多様な芸術体験を市民に提供します。	3月27日(日)開館記念事業として「Six Unlimitedコンサート」を実施1回	文化芸術ホールを活用する事業 23回	まちづくり財団の下記事業で合計14回文化芸術ホールを活用した。 ジャズフェスティバル1回、市民演劇フェスティバル1回、吹奏楽フェスティバル1回、市民合唱祭1回、ポタニカルワークショップ6回、能・狂言1回、サンリオファミリーミュージカル1回、オレンジレンジコンサート1回、湘南ひらつか寄席1回	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止した「湘南ひらつか第九のつどい」及び会場をまちづくり財団会議室に変更した「ワークショップ将棋入門講座(全8回)」以外の事業で、計画どおり文化芸術ホールで実施し、文化芸術ホールを活用して多くの文化芸術の鑑賞、体験機会が提供できた。	市民部	文化・交流課	市と市民等が協働連携して実施
76	3	活用	③	市内文化芸術団体が講師となる講座の支援	まちづくり財団やひらしん平塚文化芸術ホールが市内文化芸術団体が講師となる講座・ワークショップを実施します。	ワークショップおもしろ音楽講座(7月21日(水)～8月4日(水)) 21人 ワークショップ将棋入門講座(7月22日(木)～8月5日(木)) 22人※全8回予定だったが、新型コロナウイルス感染症のため、4回で終了	ワークショップ将棋入門(7～8月)全8回 ワークショップポタニカルアート(7～8月)全6回	7月26日、8月2日、9日、16日、23日、30日(すべて火曜日) ワークショップはじめてのポタニカルアート20人 7月22日(金)、26日(火)、29日(金)、8月2日(火)、5日(金)、9日(火)、16日(火)、19日(金) ワークショップ2022将棋入門 20人	まちづくり財団が実施するワークショップ2事業において、市内文化芸術団体に講師を依頼して、文化芸術体験の場が提供された。	市民部	文化・交流課	市と市民等が協働連携して実施
77	3	維持・保全	①	歴史的建造物保護事業	市内の明治建築として重要な文化財である旧横浜ゴム平塚製造所記念館を適切に管理し、将来に向けて保存していきます。	記念館の適切な保全のため、防蟻工事を実施。	通常の維持管理(特掲事項なし)	記念館の保全管理を適切に実施。	木造建築物のため、定期的に外壁塗装と防蟻工事が必要となる。来館者のアンケートには、維持管理が行き届いているなどの意見が多数あり、指定管理による運営管理で登録有形文化財の保存と活用が良好に図られている。	社会教育部	社会教育課	市と市民等が協働連携して実施

NO	基本目標	施策の方向	取組番号	事業名称	①事業の概要	②令和3年度の実績(参考)	③令和4年度の計画	④令和4年度の実績	⑤課題や成果	⑥所管		⑦実施方法
										部・室	課	
78	3	維持・保全	①	文化施設の維持管理と長寿命化	定期的点検の実施と、計画的な建物及び設備等の改修により、文化施設の適切な維持管理と長寿命化を図ります。	文化施設33施設について、年2回の自主点検を実施。 文化施設13施設について、建築基準法第12条にかかる点検を実施。平塚文化芸術ホールの新築工事、吉沢公民館の新築工事、四ノ宮公民館新築工事の基本設計業務を実施。	文化施設34施設について、年2回の自主点検を実施。 文化施設13施設について、建築基準法第12条にかかる点検を実施。中央図書館及中央公民館の老朽度調査、四ノ宮公民館の新築工事の実施設計、松原公民館改修工事の基本設計を実施。	文化施設34施設について、1回の自主点検を実施。 文化施設13施設について、建築基準法第12条にかかる点検を実施。中央図書館及び中央公民館の老朽調査を実施。 四ノ宮公民館の新築工事の実施設計、松原公民館改修工事の基本設計を実施。	定期的な点検や、一部文化施設の老朽化調査の実施、地区公民館の新築、改修に向けた設計実施など、計画通りに文化施設の維持管理と長寿命化に取り組んだ。	市民部	文化・交流課ほか	市が単独で実施